

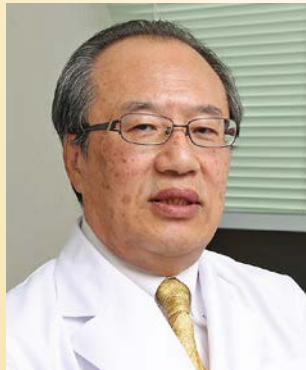


あたたかい医療をみんなの手で—

“きみつだより”

玄々堂 君津病院 〒299-1144 君津市東坂田4-7-20 ☎0439-52-2366(代) URL http://www.gengendo.jp/

新年の挨拶



玄々堂木更津クリニック 院長 住吉 義光

新年あけましておめでとうございます。私が当クリニックに赴任してあっという間に7年が経過しました。ご存じの通り当院は主として血液透析医療を行っています。透析患者さんの数は年々増加し、現在約180余名となっています。それに反し、医療スタッフ数は減少し、少数精鋭で診療せざるを得ないのが現状です。患者さんにはご迷惑をおかけすることなく診療することに努めていますが、マンパワー不足は否めなくこの点をご理解いただければ幸いです。

わが国は、高齢者が増えるに従って透析療法を受けている患者数も増えており、約33万人となっています。それに要する医療費は、年間1兆6千億円にも達しています。この額は、総医療費の約4%を占め、国家予算の約1.6%となります。これほど膨大な額の税金を使用して透析医療は行われています。透析医療を受けている患者さんと私たち医療スタッフは、十分にこの額を理解し、決して税金の無駄遣いをするものないよう留意する必要があると思います。

木更津市は東京・横浜のベッドタウンとして、その人口は毎年増加しています。当院の周辺も田畑は宅地になり、一般住宅やアパートがどんどん建っています。その変貌には、目を見張るものがあります。今後は地域住民と接する機会が増えることが予想され、さらに地域医療に貢献できるように精進してまいりますので本年もよろしくお願いいたします。

新年の挨拶



玄々堂じんクリニック 院長 大崎 慎一

新年あけましておめでとうございます。玄々堂じんクリニック院長の大崎です。玄々堂じんクリニックは生活と医療の融合をテーマに昨年の5月から開院いたしました。おかげさまでスタートは順調で9ヶ月を経過した1月現在は週3日間の透析治療と毎日のリハビリテーションをおこなっています。初診外来の無いクリニックですので直接受診はできませんが、ウェル・ヴィレッジ君津に入居中の患者さんを中心に、総合腎臓病センターの中で当院での治療が望ましいと判断された患者さんの診療をおこなっています。今年も“優しい生活空間における安心した透析とリハビリ”を提供できるように君津病院と密に連携した診療を充実させたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

年頭の挨拶



玄々堂君津病院 院長 池田 重雄

新年あけましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願い致します。

昨年、玄々堂君津病院裏手に完成しました玄々堂じんクリニック、サービス付き高齢者向け住宅「ウェル・ヴィレッジ君津」は、おかげさまで順調なすべり出しを迎えることができました。玄々堂じんクリニックは、当院総合腎臓病センターの4番目の透析クリニックとして、地域の透析患者さんの診療をさせていただいております。これに併設するサービス付き高齢者向け住宅「ウェル・ヴィレッジ君津」、これは当グループ初めての介護施設設ではありますが、地域の皆様にご入居いただき、介護、リハビリ

サービスを開始させていただいております。本年度も引き続き、充実したサービス提供に努めていく所存であります。

玄々堂君津病院でも、昨年、一昨年度と新しい医師が何人か加わり診療部門を拡大することができました。医療チームの中心である医局の充実により、少しでも地域の医療サービスの向上、拡大ができればと考えております。特に整形外科診療に関しては、常勤医師着任により、昨年4月より整形外科手術を開始することができました。またすべての整形外科診療をカバーすることはできませんが、少しでも地域の皆様の整形外科診療を充実させるべく努力していく所存であります。

病院の今年の新しい計画として、建物の古くなりました玄々堂木更津クリニックの改修計画と、富津市佐貫地区での診療所の開設を予定しております。玄々堂木更津クリニックの改修はまだ計画段階ではありますが、利用されている皆様に少しでも良い環境で診療を受けていただける施設となるよう準備しております。富津市佐貫地区の診療所に関しても、まだ計画段階ではありますが、富津市の皆様に安心して利用いただければ、本院との連携、さらには隣接して昨年開設いたしました、社会福祉法人佐貫会の運営する特別養護老人ホーム「玄々堂 亀田の郷」とも連携を持った診療所を目指して準備しております。

玄々堂君津病院グループの職員一同、本年も地域の皆様へ提供できる医療介護サービスの向上に努めていきたいと考えております。皆様の御支援、御理解をどうかよろしくお願い致します。

10月28日（土）新館大会議室において、第121回糖尿病教室が開催された。医師をはじめ糖尿病療養指導士の資格を持つ看護師・薬剤師・管理栄養士・理学療法士が講義を行った。

第121回糖尿病教室開催

当院の大崎 副院長が、ラジオ日本「健康知りたい話」にゲスト出演し、「慢性腎臓病と言われたら」というテーマで、11月6日（土）10日までの計5回にわたって出演、慢性腎臓病についてわかりやすく解説した。※なお、外来カウンセラーでは、希望者に番組の収録CDを無料配布できるようにしている。



大崎副院長ラジオ日本出演

第16回リハビリ教室開催

去る9月30日（土）リハビリテーション室において、第16回リハビリ教室を開催した。今回は「転ぶ人とは転ばない人の違いって何だろう？」というテーマで行った。初めに人によってどんな時に転ぶのか？と題して、転倒の原因や転倒しやすい場所、転倒を引き起こしやすい筋力低下部位等を紹介し、転倒予防のための筋力や杖等の道具の使用法、自宅内を整理整頓する。等を紹介した。

次に転ばないためにできることは？では、筋力トレーニングの方法や、転倒しにくい歩き方、自宅内で留意する場所や転倒しないための工夫を紹介した。

参加者からは「運動の方法がわかってよかった」「自分の弱点がわかり、今後に活かせる等の声」が盛況のうちに終わった。次回（3月）は「体力測定」をテーマに開催する予定。

健康教室開催のお知らせ

●第122回糖尿病教室
目的 病院食を試食し、適正な食事量やバランス、味付けを体験し、普段の食事生活を振り返ると共に、食事管理への理解を深め、今後の食生活に生かす。
日時 平成30年2月24日（土）12時30分～14時（受付12時）
場所 新館大会議室
参加費 食事代700円
定員 10名（申込先着順）
●第17回リハビリ教室
日時 平成30年3月24日（土）14時より
場所 リハビリテーション室
内容 「体力測定」申し込み用紙にご記入のうえ、リハビリテーション科へお申し込み下さい。当日は動きやすい服装でお越し下さい。

新入職員

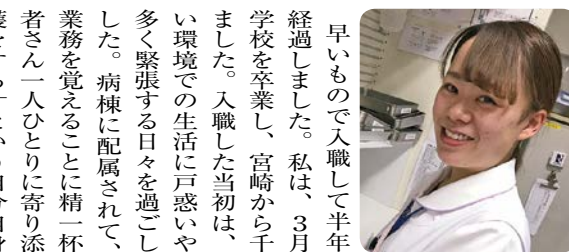
頑張っています！



薬剤師 中澤 宏実

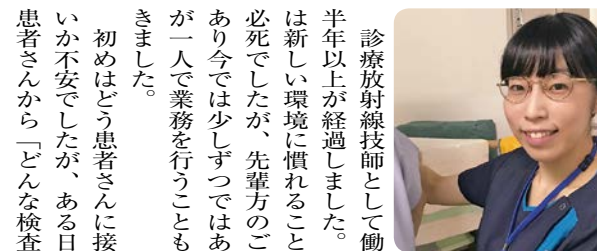
入職してからあっという間に半年が経過し、当初は緊張が過ぎたが、先輩スタッフのサポートのおかげで、徐々に慣れてきました。現在は、薬剤師としての業務に集中しています。今後も、患者さんのために尽力していきます。

新人看護師研修期間の下で学習する看護技術や教育研修プログラムの指導を受けながら、夏頃には独立して業務を行う予定です。先輩スタッフのサポートのおかげで、徐々に慣れてきました。現在は、看護師としての業務に集中しています。今後も、患者さんのために尽力していきます。



看護師 富高 由華

早いもので入職して半年以上が経過しました。私は、3月に看護学校を卒業し、宮崎から千葉へ来ました。入職した当初は、慣れない環境での生活に戸惑いや不安も多く緊張する日々を過ごしていましたが、病棟に配属されて、最初は業務を覚えることに精一杯で「患者さん一人ひとりに寄り添える看護をする」という自分自身の理想の看護師像には近づけることができないと感じていました。



診療放射線技師 小沼 祐子

診療放射線技師として働き始めて半年以上が経過しました。入職時は新しい環境に慣れることに毎日必死でしたが、先輩方のご指導もあり今は少しずつではありますが、一人で業務を行うことも増えてきました。

初めはどう患者さんに接してよいか不安でしたが、ある日撮影後患者さんから「どんな検査をするのか」という質問を受け、先輩方から「まずは、患者さんの流れを見つけて、先導する」というアドバイスをもらいました。先輩方から「まずは、患者さんの流れを見つけて、先導する」というアドバイスをもらいました。

看護師として認めてくれて、と思うと不安も和らいでいます。看護をする中で、患者さんとのかわり、難しさを感じることもありますが、「看護師さん」と頼られること、寄り添って看護をすることが、やりがいと楽しさを感じています。

まだまだ業務を行う中で、できないことも多くありますが、先輩看護師の指導を受けながら一つ一つ確実にこなしていきたいと思います。看護師になりたいのかと常に考えて看護師として日々頑張っています。



臨床工学技士 日暮 光太郎

臨床工学技士としてこの春入職し、早いもので半年以上が経過しました。周りのスタッフや患者さんとのコミュニケーションにも徐々に慣れ、今では一人で任せて頂ける業務が増えてきています。入職して間もない頃は、職場の環境に慣れることに必死で、心に余裕がありませんでしたが、二、三

か月経った頃には、患者さんとの会話も少しずつ増え、透析条件の確認などもスムーズに行えるようになりました。最近では患者さんから「今日は何時まで仕事なの？」「まだ担当してくださいますか？」など、気軽に声をかけていただき、私を一人の医療従事者として見てくださっていると思うと、この仕事について本当に良かったと思います。

現在は一人前の臨床工学技士になるための成長過程であり、何度か出るまで指導してくれる先輩方や、アドバイスしてくれる同期がいるこの職場は、私にとって恵まれた環境であると常々感じています。特に先輩から「メンター」で教えていただける新人教育制度は、疑問や不安な点をいつでも相談できるため、まだまだ未熟な私にとってはとても心強いです。そして、自分専用の教育カリキュラムを作ってくださるので、着実に成長できていると実感しています。また、部署内で勉強会や、問題演習を実施するなど業務以外の面でも気にかけてくださることに大変嬉しく思います。

今後はミスも多く先輩方に迷惑をかけてしまうことが多いですが、徐々に減らしていけるよう安心安全に業務に取り組むよう努めます。自分の仕事は決して一人では成れていないので、いろいろなことを忘れずにこれからも励み続け、頑張りたいです。



クリスマスコンサート

12月16日（土）外来ロビーにおいて、クリスマスコンサートを開催しました。はじめに『きみつ童謡唱歌を楽しむ会』の方々が歌声を披露、懐かしい童謡唱歌に会場の皆さんも一緒に口ずさんでいました。

今年はスペシャルゲストも登場、入院中の患者さんが、ハーモニカ演奏を披露して下さり、素敵な音色に皆聞き入りしました。そして看護部有志がハンドベルでクリスマスソングを演奏、最後は「玄々堂かがやき保育所」の子供たちが元気な歌とダンスで会場を笑顔で一杯にしてくれました。クリスマスの日には、入院患者さんにボランティアさん手作りのクリスマスプレゼントを贈りました。

今年の目標「セルフマネジメント」を達成！
来年の目標も同じく「セルフマネジメント」に頑張ります！
運動するための準備のための買い出しに行きます！運動不足寒さに負けずに運動頑張ろう！
2018年はいよいよ年になるかな？厄よ吹っ飛ばせ！（夏みく）
年々体重が落ちなくなってきた。ダイエット頑張らなければ！（バク）
春待ちわびて、寒さと歳に負けず頑張ります！（わめい）
大雪最強寒波などの真只中から、根が芽を出して、花壇に植えた球根が芽を出して、春が近づいてくるんだ！（ほろ）
最近カモミールティーはまっています。リラクゼーション効果や安眠効果があるようです！（青林）
働き、両考え五両、五両、無理無両（三田）
医療において、AIをどう利用するか真剣に考える時代になりそうです。（フリー）

編集後記

玄々堂君津病院各お問い合わせ番号

病院代表番号

0439-52-2366

URL http://www.gengendo.jp

外来診療予約

診療予約・予約変更

0439-52-7068

受付時間

午前9時～午後4時

※時間帯により大変繋がりにくい場合もございます。その際は代表番号へおかけください。
※外来担当医師診療予定は、ホームページから閲覧できますので、ご利用ください。

※救急・急患の場合は、代表番号にご連絡ください。

総合腎臓病センター

腎臓病関連・腎臓病コーディネーター

0439-52-2750

受付時間

午前9時～午後4時

地域連携室

医療機関からの患者さんのご紹介

0439-52-2457

受付時間

午前8時30分～午後5時

腎センター 便利

バスキュラーアクセス (VA)・ケアチーム

総合腎臓病センターでは、透析患者さんに最良の医療を提供するために、他職種協働の専門チームが活動を行っています。

平成 30 年から腎センターチームの活動紹介コーナーをスタートします。

第 1 回は、バスキュラーアクセス (VA)・ケアチームです。



透析医療は、医師と臨床工学技士、看護師と臨床工学士、患者さんに関わるすべての医療スタッフとの連携とチームワークが大切だと感じています。

私たちのチームは、大崎センター長をリーダーに、各透析施設の看護師、臨床工学士で構成され、透析スタッフと患者さん双方に、安心感と信頼が得られるような透析現場の風土づくりを目標としています。

透析療法に必要不可欠な血管（バスキュラーアクセス）の保護、維持、管理の体制を整える当チームの活動です。

- 1「観て、聴いて、触って、表現しよう」の啓蒙活動
- ① シヤント肢をよく観ることで、血管や皮膚の変化に気付けるようになる。
- ② 音を聴くことが習慣づくことで、異常の早期発見に繋げられる。
- ③ 血管の走行、拍動を確認しながら、穿刺血管の選択力が向上する。
- ④ 患者さんや他職種とも血管の状態を情報共有できるような説明能力が向上する。

- 2電子カルテ内のバスキュラーアクセス管理情報システムの再構築
- 3患者さん、他職種、他部署へのバスキュラーアクセス管理の意識づけ活動
- ① シヤントマツサージのインフォメーション（血管拡張術後の患者さんへ）



術の提供をめざし、学習とトレーニングの場を設けていきたいと考えています。

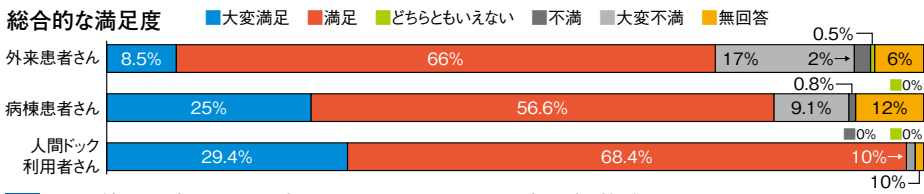
今後チームメンバーは、互いの専門性を十分理解し、多職種が全力で出した知識とアイデアを融合させながら誰にでも、わかりやすい活動が続いていこうと思っています。

患者満足度アンケート結果

平成29年9月に利用者動向や利用者の満足度・要望を把握するため、来院された方を対象に「満足度アンケート」を実施し、多くの方々より意見を頂戴しました。回答にご協力頂いた方々に厚くお礼申し上げますとともに、この結果を参考により一層ご満足いただけるようなサービスの提供に努めてまいります。

平成29年度患者満足度アンケート結果

	実施期間	配布数	回収数	回収率
外来患者さん	平成29年9月1日～9月30日	200	200	100%
病棟患者さん	平成29年9月1日～9月30日	120	120	100%
人間ドック利用者さん	平成29年9月1日～9月30日	95	95	100%



- 93件のご意見やご要望を頂きました。その一部を掲載致します。
- ① 駐車場がいつも満車で止めるのに苦労します。
- ② 足が不自由なので駐車場に車が駐車できないと困る。
- ③ 予約しても待ち時間が長い時があるのでそれを改善してほしい。
- ④ 当日具合が悪いのに予約が必要なのはどうかと思います。
- ⑤ 掲示物のはがれが気になります。
- ⑥ 空調温度が寒かったりする。
- ⑦ 皆さん名札を付けているけど、もう少し見やすい名札がいいかと思ひます。名札を付けているのだから名前を見てあいさつしたかった。
- ⑧ トイレの床、壁の汚れが多少目についた。その他は満足しています。
- ⑨ お食事券についてランチ以外のメニューも選択できる様にほしい。例えば1,000円以下の物は何でも可とか。
- ⑩ 現在総合診療と泌尿器科においてお世話になっています。人間ドックも今回が2度目ですが、これらの診療データを総合的に管理していただき、今後の健康管理の方針とフォローアップを気軽にお話し出来る場があればと思います。

- 47件の感謝やお褒めの言葉を頂きました。その一部を掲載致します。
- ① 職員の皆様への対応親切はとてもよくしていただき感謝しており、設備・案内などとてもわかりやすいです。お医者様もとてもやさしく好感がもてます。
- ② 待ち時間は以前に比べれば早くなったし、会計も早いので満足です。
- ③ 職員の方々が若く明るい事が大変良い。キビキビ動いている様子が頼もしい。
- ④ ドクターの説明に納得して手術を受けることができて良かった。
- ⑤ 昨年胃カメラをして苦しかったのですが注射がすまっていたおかげでとても苦しまず行なうことができました。ありがとうございました。

玄々堂君津病院 CS委員会

① 外来患者さんより ② 入院患者さんより ③ 人間ドック受診患者さんより

麻酔科

「目立たない裏方、けれどプロフェッショナル」



麻酔科 部長 久住 映子

●麻酔科医の仕事

麻酔科は、主に「手術の際に患者さんを痛みなどのストレスから守ること」を仕事にしています。大規模病院では、外来で痛みを緩和する「ペインクリニック」や、集中治療室「集中治療室」・余命が限られた方の苦しみを楽にする「緩和ケア」なども麻酔科医の仕事の一部ですが、この稿では麻酔科医の仕事の中心である「手術の際、麻酔」に絞って紹介します。

例えば、ある患者さんの内臓に腫瘍が見つかり、手術で摘出しなければならないとしました。麻酔なしで手術をすることは到底できません。手術の内容により、通常は「手術中の痛みをとる強力な麻酔」と「術後の傷の痛みをおさえること」を目的とした補助的な「麻酔」を組み合わせて麻酔計画を立てます。腹部の手術では多くの場合、前者の目的で全身麻酔、後者の目的で硬膜外麻酔を選択します。また、下肢の骨折などの外傷の手術では腰椎麻酔・神経ブロックを組み合わせることもあります。

●「外科医の時計を持つ内科医」

患者さんの多くは「麻酔科医は患者を寝かせた後仕事が終わる」と思っておられるようですが、それは違います。全身麻酔で最初に投与する眠り薬は患者さんがきりきり眠りにつく最小量で、かなく、その後は点滴等から麻酔薬をつき足すことによって麻酔を保ちます。また安全のための気管確保、追加の点滴確保、手術中の生命維持管理と多様な仕事をしています。輸液量や薬物投与は手術の進行状況や、患者さんに加わる刺激の強さにより、リアルタイムで調節しています。やっていた仕事の種類は内科医の業務に似ていますが、刻一刻と目まぐるしく変わる手術や、バイタルサイン（血圧、脈拍、呼吸状態など）にあわせて、患者さんが最も快適に、かつ安全な麻酔状態でいて頂けるように、外科医と同じ時計を持っているかもしれません。したがって、麻酔科医は「外科医の時計をもった内科医」と呼ばれることもあります。また手術が長くなっても、麻酔科医が最後までそばに付き添い、安全に目を覚まし病棟に帰れるまでお世話を続けます。

●「全身麻酔」への誤解

以前は全身麻酔は危険なもの、



●「全身麻酔」への誤解

●昔より重症・高齢化

ただし、手術を受ける患者さんの層が、昔に比べると高齢化。重症化しているのは否めません。同じ「胃がん」の手術を例としてみても、壮健な55歳の患者さんと、狭心症や糖尿病をかかえ85歳の患者さんのそれとは、術中、術後の管理の大変さは比べ物になりません。ざっと20年前は、86歳以上の超高齢者（日本麻酔科学会の分類）の手術はめったにありませんでしたが、最近では珍しくありません。それゆえ麻酔科医がお世話をしなければならぬ項目も増え、仕事の大変さも増しています。

●透析患者さんの麻酔

当院の特徴として、透析患者さんの比率が高いことはよく知られています。透析患者さんが、手術やそれに伴う麻酔を必要とした



●目立たない、縁の下の力持ち

麻酔科医が患者さんと過ごす時間の多くは、患者さんが無意識か、鎮静薬で眠くなっており、その分あまり記憶に残りません。中には、麻酔を麻酔科医が担当していることに気付かない方もいらっしゃると思います。それが全国麻酔科医は、患者さんだけでなく、安全に手術を受けて頂けるように、縁の下で力持ちとして日々、地味な努力を重ねておられます。また、外科医がサカサカのスカー選手だとしたら、麻酔科医はグラウンドのコンディショニングを整える、グラウンドキーパーのような職種でしょう。しかし一流のスタジアムには一流のグラウンドキーパーが欠かせません。今後も、患者さんの命を守るプロフェッショナルであり続けたいと思っています。

●足りていない麻酔科医

麻酔科医は医師全体の0.5%しかおらず、小児科や産婦人科と並び極端に足りない分野と言われています。同業の麻酔科医の間では「絶滅危惧種」と囁かれています。業務量も多く、毎年のように同僚の麻酔科医が現場を去り、麻酔科医不足に拍車がかかっています。それ故「麻酔科医がいる病院」である事は一定水準以上の医

療を実践している証とも言えるのです。

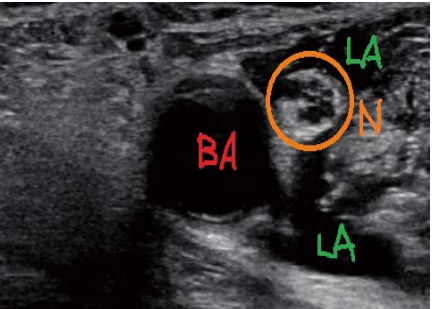
●注目のトピックス

超音波ガイド下神経ブロックが人急上昇！

最後に、麻酔科の領域内で最近脚光を浴びている分野「超音波ガイド下末梢神経ブロック」についてお話しします。

神経ブロック自体は50年前から手術や鎮痛に使われてきたが、問題点として①技術の習得までに時間がかかる②周りの習得でないことがあった、またそれを避けるために局所麻酔薬を多く使うことで、等があげられた。近年、超音波装置の発達と普及により、神経の位置を明確に映し出せる様になり、危険な合併症を減らし、薬の量も少量で効果が出せるようになっ

てきました。また、抗凝固療法・脳梗塞や狭心症などの治療や血栓予防のために、血液をサラサラにする薬を服用すること）を行っている患者さんでは従来、硬膜外麻酔や腰椎麻酔が禁じられており、術後の痛みを止める良い方法が少なかったのですが、超音波装置を使い末梢神経ブロックが安全にできるようになって



実際に当院で神経ブロックを受けた患者さんの超音波画像（腕神経叢ブロック腋窩アプローチ）
BA（赤）：上腕動脈
N（オレンジ）：目的とする神経
LA（緑）：注入した局所麻酔薬

平成 29 年 学会発表一覧

平成29年に当院職員が全国各地で行った学会発表等です。その主要学会をご紹介します。

発表部署	学会名	発表形式	発表者・座長
診療部	君津・富津地区病診連携を考える会	座長	荻野良郎
	君津・木更津地区糖尿病講演会	座長	*
	糖尿病と腎臓病を考える会	座長	*
	第37回君津・木更津糖尿病懇話会	発表	*
	Diabetes Update Meeting in Kimitsu	座長	*
	DIABETIC INJECTION SEMINAR in 木更津	座長	*
	GLP-1 Analog Update Meeting in Meeting Kisarazu	座長	*
	第3回Primary doctor joint Forum in Kazusa	座長	*
	第62回日本透析医学学会学術集会・総会	ワークショップ	大崎慎一
	第63回日本透析医学学会学術集会・総会	発表者	佐藤和弘
	わがお腎セミナー	特別講演	大崎慎一
	第21回日本アークス研究会学術集会・総会	発表	*
	第22回日本アークス研究会学術集会・総会	発表	*
	第2回若手中部/バスキュラーアクセス研究会	特別講演	北岡 遼
	第45回千葉県透析研究会	座長	大崎慎一
看護部	君津・木更津地区透析講演会	座長	永瀬 進
	第90回日本腎形外科学会学術集会	座長	助崎文雄
	第58回日本腎臓学会総会	発表	佐藤和弘
	第45回千葉県透析研究会	発表	*
	第12回日本透析医学学会学術集会・総会	発表	*
	第15回日本フットケア学会	発表	*
	君津市内視察研究会	発表	矢島健広
	慢性腎臓病予防セミナー	発表	西山成二
	君津・木更津医師会学術講演会	発表	*
	第62回日本透析医学学会学術集会	発表	木村純子 丹野志保 佐藤茜
臨床工学科	第20回日本腎不全看護学会学術集会・総会	発表	丹野志保
	日本バスキュラーアクセス研究会	発表	服部美由紀
	調布エリヤ血液透析セミナー	講演	三浦國男 刈込秀樹
	第20回神奈川呼吸療法カンファレンス	講演	高橋初
	信州透析医療スタッフセミナー	講演	三浦國男 川上崇志
	第15回日本フットケア学会	講演	川上崇志 三浦國男
	第21回千葉県臨床工学科士研究発表会	ランチョンセミナー（司会）	座長 高橋初 佐藤貴仁 発表（司会）川上崇志 岡本伊織

発表部署	学会名	発表形式	発表者・座長
臨床工学科	第44回日本血液浄化技術学会	ランチョンセミナー	齊藤晃
	ベストプレゼンテーションアワード発表（口演）	発表	齊藤晃
	発表（ポスター）	発表	川上崇志 佐藤貴仁
	パネルディスカッション	発表	三浦國男
	パネルディスカッション（演者）	発表	三浦國男 高橋初
	座長（口演）	座長	三浦國男
	座長（ポスター）	座長	刈込秀樹 渡邊仙志 山口裕伸
	発表（口演）	発表	石好行 高橋初 齊藤晃
	発表（ポスター）	発表	川上崇志 岡本伊織 成田俊也
	H12 seminar ～フットケア～	講演	三浦國男 川上崇志
薬局	第12回日本透析クリアランスギャップ	座長・発表（口演）	齊藤晃
	講演	座長	川上崇志 高橋初 成田俊也
	第21回日本アークス研究会学術集会・総会	発表（口演）	川上崇志 岡本伊織
	第45回千葉県透析研究会	座長	大崎慎一
	座長（口演）	座長	山口耀 宮崎拓也 山田遥香
	発表（口演）	発表	高橋初 小原明士
	第11回日本緩和医療学会学術集会	発表	刈込智子
	日本フットケア学会	発表	森田隆
	第45回千葉県透析研究会	発表	保坂聡 山口舞衣
	日本フットケア学会	発表	平野聖治
臨床検査科	糖尿病合併症学会	発表	上野芳人
	日本臨床検査技師学会	発表	梅澤理枝
	第33回日本診療放射線技師学術大会	発表	重岡勇人
放射線科	第32回日本静脈経腸栄養学会学術集会	発表	荻野哲